

原爆の怖さ生々しく

相生写真や絵画190点展示

原爆投下後の広島、長崎の写真などを通して、非核と平和を考え、企画展が、相生市相生6の市文化会館「なぎさホール」で開かれている。被爆者の写真の恐ろしさを知らせ、や市内の小学生が平和

をテーマに描いた絵画など約190点が並ぶ。15日まで。展示では、被爆して大やけどを負った女性や顔に斑点が出た兵士の写真などが並び、原

爆の恐ろしさを生々しく伝える。

「平和な世界へ」「核兵器はノー」とメッセージを添えた小中学生の水彩画も展示され、来場者は核兵器の廃絶などに思いをはせていた。

午前10時～午後5時
(10日は午後9時まで)。火曜休館。無料。
市総務課 ☎0791・23・7126

(杉山雅崇)



原爆の惨状などを伝える展示
＝相生市相生6